

本時の学習【見通し4】(7/7)

豊受小学校では、3人によるグループ編制を可能にし、結果の発表と全体での意見交換を効率よく行うために、第6時に引き続きコース別で学習を行う。

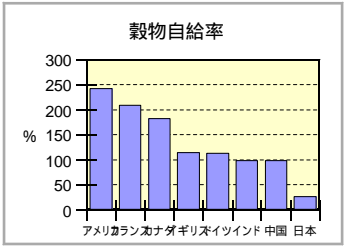

1 ねらい


つりあいの取れた貿易にするための方法について話し合う活動を通して、これからの貿易と運輸で大切なことは何かについて考えることができる。

2 準備

提示用資料(世界のおもな国の輸出入の差額のグラフ、自給率のグラフなど)、付せん紙及び付せん紙をはる台紙(つりあいの取れた貿易にするための解決策について話し合うためのもの)、ワークシート

3 展開

| 学習活動 | 時間 | 学習活動への支援および留意点 | 評価項目 |
|---|----|--|--|
| <p>1 前時までの学習をふり返り、本時の問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「貿易の役割」や「貿易のよさと問題点」について再確認する。  | 8 | <p>話し合いが有意義なものとなるように、「貿易の役割」や「貿易のよさと問題点」について確認しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> わが国の食料自給率とエネルギー自給率のグラフを示し、貿易の果たしている役割を印象付け、私たちの生活にとって貿易はなくてはならないものであることを把握できるようにする。 「貿易が盛んになるのはよいことだ。」という前提で話し合いが進められるようにする。 | |
| <p>解決策について話し合い、これからの貿易と運輸で大切なことについて考えよう</p> | | | |
| <p>2 つりあいの取れた貿易にするための方法について、3人編制の小グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの方法のよい点と問題点についてグループで話し合い、最善の方法を選択する。  | 12 | <p>一人一人が積極的に話し合いに参加できるよう、最初に3人編制の小グループによる話し合いを行う。</p> <p>付せん紙に書かれた解決策を、シート上で動かしながら検討するという方法を取り入れ、話し合いへの参加を容易にし、活発な意見交換が行われるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に子供から出された多様な考えを、同じもの同士まとめて八つに分類しておく。(第一小は七つに分類) 解決方法は、有効性や実現の可能性、生活への影響などの観点から、それぞれの方法のよい点と問題点について考えていくようにする。 話し合いの結果をまとめる際には、カードに書かれた方法を合わせたり、新たな方法を考えたりしてもよいことを助言する。 | <p>これからの貿易と運輸にとって大切なことについて、進んで考えていこうとしているかどうかを、話し合いの様子やワークシートに記述した内容の分析を通して評価する。</p> <p>これまでに学習したことやこの時間に話し合ったことをもとに、貿易や運輸が我が国の工業生産において重要な役割を果たしていることやこれからの貿易と運輸のあり方について考え適切に判断してい</p> |
| <p>3 各グループが選択した方法を発表し合い、全体で意見を交換し合う。</p> | 13 | <p>さまざまな考えを基に、貿易についてより深く考えていけるように、全体での交流を</p> | |

| | | |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 各グループの発表を聞いて疑問に思ったことや考えたことなどを発表し合う。  | <p>行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループの代表は、話し合いの様子も含めて結果を発表するようにする。 自分のグループの話し合いで出されたことと比較し、新たに気付いた点や優れていると思った点なども含めて、できるだけ多くの子供たちが意見や感想を発表できるようにする。 貿易問題を解決するために、外国で製品をつくる日本の工場が増えており、加工貿易が変化してきていることを説明しておく。 | <p>るかどうかを、話し合いの様子やワークシートに記述した内容の分析を通して評価する。</p> |
| <p>4 これからの貿易と運輸について、自分なりの考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習してきたことを振り返り、これからの貿易と運輸の姿について、自分なりに考えたことをワークシートにまとめる。 ほかの子供の考えを聞く。 | <p>9</p> <p>自分の考えの深まりがとらえられるよう、本時の学習を通して考えが変わってきた部分についても記述できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の工業生産を支える貿易と運輸の役割を踏まえた上で、相手国の立場を考えたり、自分の生活と関連付けて将来像について考えたりしながら、自分の意見としてまとめられるようにする。 <p>友だちの考えを聞くことによって、一人一人の思考を広げるようにする。</p> | |
| <p>5 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> チェックシートを使って本時の学習を振り返り、自己評価する。 | <p>3</p> <p>評価項目の内容を正しく理解して評価できるように、説明を補足したり助言したりする。</p> | |



板書の様子
(六合村立第一小学校)

3人編成の少グループによる話し合いの様子

